



V60M Pro

取扱説明書

ご使用される前に取扱説明書をよく
お読みになり、正しく保管してください。

ようこそ

ロボット掃除機「Verefa」をお買い上げくださりありがとうございます。
。本製品で快適な時間をお過ごしください。

ご質問やご意見がございましたら、デバイスの下部に掲載されている
弊社の連絡先まで、お問い合わせください。

目次

1. 安全に関する注意事項	安全に関する重要なお知らせ	01
	2.1 箱に含まれるもの	04
2. 製品の概要	2.2 製品構造 (ボタン、インジケータを含む)	05
	3.1 ご使用になる前の重要なアドバイス	09
3. 設置方法	3.2 実際に使用する	09
	4.1 主な機能	13
	4.2 モップ機能	15
4. 操作方法	4.3 ネットワーク機能	17
	4.4 その他機能	18
	5.1 定期メンテナンス	20
5. メンテナンスおよびト ラブルシューティング	5.2 トラブルシューティング	26
	5.3 よくある質問	29
	基本パラメーター	31
6. 声明文	省エネとバッテリー	32
	カスタマーサービス	34

1. 安全に関する注意事項

製品を使用する前に、以下の基本的な安全注意事項を守ってください：

- ・取扱説明書に記載されている内容をよくお読みになり、その内容に従ってご使用ください。
- ・取扱説明書は、いつでも参照できるように保管してください。
- ・本製品を第三者に譲渡する場合は、本製品に取扱説明書を添付してください。
- ・マニュアルに従わない操作を行うと、重大な人身事故や製品本体の故障の原因となることがあります。
- ・取扱説明書を紛失された場合は、お近くの販売店または当社カスタマーサービスにご連絡いただき、電子版の取扱説明書をお受け取りください。

安全に関する重要なお知らせ

使用上の制限

- ・身体、知覚、精神、知的障がい者、または関連する経験や知識のない方（子供を含む）は、本製品を安全に使用できるように保護者の注意や指導のもとで使用する場合を除き、本製品を使用しないでください。
- ・お子様がおもちゃとして本製品を扱わないようにしてください。本製品が作動しているときは、子供やペットをできるだけ遠ざけてください。
- ・本製品には、小さな部品や付属品が含まれている場合があります。お子様が誤って分解したり、壊したり、小さな部品や付属品を飲み込んで窒息する恐れがあるので、本製品および関連パーツはお子様の手の届かないところに保管してください。
- ・お子様が製品の包装袋で遊ぶと窒息する恐れがあるのでおやめください。
- ・ブラシクリーニングツールは、お子様の手の届く範囲に置かないでください。
- ・本製品は家庭環境内での床掃除にのみ使用し、屋外（オープンバルコニーなど）、床以外（ソファなど）、商業・工業関連施設では使用しないでください。
- ・保護柵のない段差のある環境（二重床、オープンバルコニー、家具の上など）では使用しないでください。
- ・使用する前に、デバイスがケーブルを引きずるのを防ぐために、家庭内の全ての床に設置されているケーブルを片付けてください。
- ・ロボットの運転中の妨げになるものや、軽微な衝突によって家庭内の貴重品が破損するのを防ぐため、床にある壊れやすい物や障害物（花瓶、ビニール袋など）は片付けてください。
- ・充電台は、製品のパフォーマンスに影響を与えないよう、壁際の平坦な場所に設置してください。
- ・本製品の動作中に、充電器を取り外すと、正常に充電できなくなります。

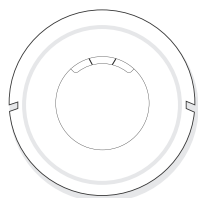
- ・ 40℃以上、4℃以下の環境、または床面に液体や粘性物質がある状態で使用しないでください。
 - ・ 湿度の高い環境（浴室など）では使用しないでください。
 - ・ 本製品は、燃烧物（火の消えていないタバコの吸殻など）の洗浄には使用しないでください。
 - ・ 毛足の長いカーペットのクリーニングには使用しないでください（一部の毛が深いカーペットは正常にクリーニングできない場合があります）。
 - ・ 硬いものや尖ったもの（装飾くず、ガラス、釘など）をロボットに吸引させないでください。
 - ・ 家全体を掃除する前に、ご自宅の床を傷つけたりしないかどうか、ご自宅でお部屋の局部でロボットの使用テストを行うことをお勧めします。
 - ・ 本製品を地上に電源コンセントが露出しているエリアで使用しないでください。
 - ・ フロアおよび本製品を損傷させる恐れがあるため、本製品を未完成、未密封、ワックス加工済みまたは粗いフロアで使用しないでください。
 - ・ カーペットの上でモップモジュールを使用しないでください。
 - ・ 本製品が細いもので引っ張られると、接続されているものや周辺のものを引き落とす恐れがあるため、本製品のご使用前に、フロア上の衣類、紙、ブラインドカーテン、割れやすいものなどを片付け、フロア上の電気ケーブル、カーテンホルダーなどを除去してください。
-
- ・ ロボット動作中は、髪の毛や指など、人・ペットの体をロボットの吸塵口やブラシヘッドの回転位置に近づけないようにして、ケガをしないよう注意してください。
 - ・ けがの原因となりますので、製品の隙間に指を入れないでください。
 - ・ 静態/稼働中の製品の上に、物（子供やペットを含む）を置かないでください。
 - ・ 製品が原因につまずきを防止するため、本製品が動作しているときは、室内にいる他の人に知らせてください。
-
- ・ 本製品を上下逆にして置かないでください。フェイスカバーなどのカバーを持ち手として扱わないでください。
 - ・ ロボットや充電台は、通電されていない状態で清掃やメンテナンスを行ってください。
 - ・ 手が濡れている状態で電源プラグや製品に触れないでください。感電する恐れがあります。
 - ・ 洗浄可能な部分を除く本製品のすべての部位は、濡れた布や液体で拭いたり、洗ったりしないでください。洗浄可能な部品は、定期的なクリーニングで濡れた後、設置および使用前に十分に乾燥させてください。
-
- ・ 本製品は、取扱説明書に従ってご使用ください。誤った使用による損失や怪我は、ご利用者の負担となります。
 - ・ 本製品は、指定の国・地域でのみ販売・使用することができます。指定の地域外の方は、アプリリモコンやスマートスピーカーが体験できない場合があります。
 - ・ ロボットおよび付属品の破損が確認された場合は、本製品の使用を止め、弊社カスタマーサービスにご連絡ください。当社指定または認可された保守担当の技術者以外は、本製品を分解、修理、改造しないでください。

バッテリーと充電に関して

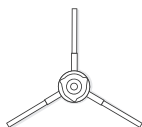
- ・他社製品のバッテリー、アダプター、電源ケーブル、充電台は使用しないでください。本製品は、本機に付属のバッテリー、アダプターまたは電源ケーブル、充電台以外は使用できません。それ以外の製品を使用すると、高電圧による製品の損傷、感電、火災の恐れがあります。
 - ・バッテリーや充電台を許可なく分解、修理、改造しないでください。
 - ・充電台は熱源（発電機など）の近くに置かないでください。
 - ・手が濡れているときは、電線、ソケット、電源アダプターに触れないでください。
 - ・湿った布や濡れた手で充電タブを拭いたり、クリーニングしたりしないでください。
 - ・電源ケーブルが断線した場合は、直ちに使用を中止し、正規のルートで購入または交換してください。
 - ・この製品を輸送する必要がある場合は、ロボットの電源がオフになっていることを確認し、元々ロボットが入っていた梱包箱を使用することをお勧めします。
 - ・本製品を長期間使用しない場合は、フル充電後にロボットの電源を切り、涼しく乾燥した場所に置いてください。バッテリーの過放電を防ぐため、少なくとも三カ月に一度は充電してください。
-
- ・ロボットのバッテリーの交換が必要な場合は、弊社カスタマーサービスにご連絡ください。交換するバッテリーの種類を間違えると、危険な事故につながる恐れがあります。
 - ・万一、バッテリーが液漏れした場合は、液が皮膚や衣服に付着しないように注意してください。すぐに乾いた布で拭き取り、リサイクルボックスまたは指定のメンテナンス専門店に送ってください。無造作に処分してはいけません。
 - ・バッテリーを取り外すときは、必ず電源スイッチを切ってください。
 - ・本製品を廃棄する場合は、必ずバッテリーを取り出してください。本製品の古いバッテリーは適切に処理し、不要になったバッテリーは勝手に捨てないでください。バッテリーには、環境に有害な物質が含まれています。地域の環境保護条例にしたがって、指定のリサイクル施設にお入れください。

2. 製品概要

2.1 箱に含まれるもの



ロボット掃除機
(以下、ロボット)



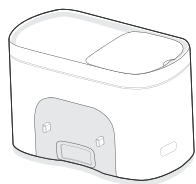
サイドブラシ(1本)



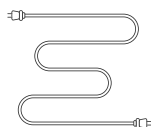
クリーニングブラシ
(ダストボックス内)



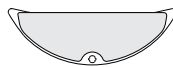
リモコン



自動エンプティ充電台
(以下、充電台と略す)
(ダストバッグ装着済み)



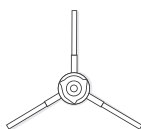
電源ケーブル



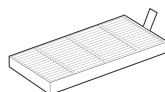
モップモジュール
(モップ装着済み)



取扱説明書、その他資料



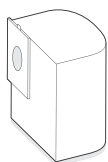
予備のサイド
ブラシ(1本)



追加フィルタ
ー(1個)



ケーブルタイ(5本)



予備のダスト
バッグ(2個)

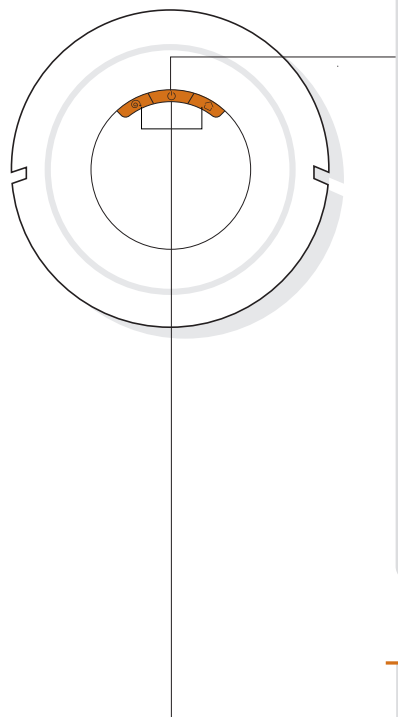


電池(2個)

2.2 製品構造 (ボタン、インジケータを含む)

A) ロボット掃除機

上から見た図

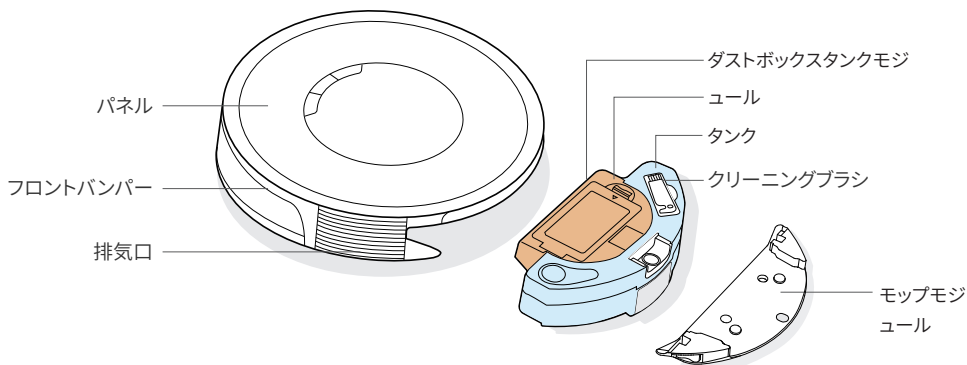


ボタン

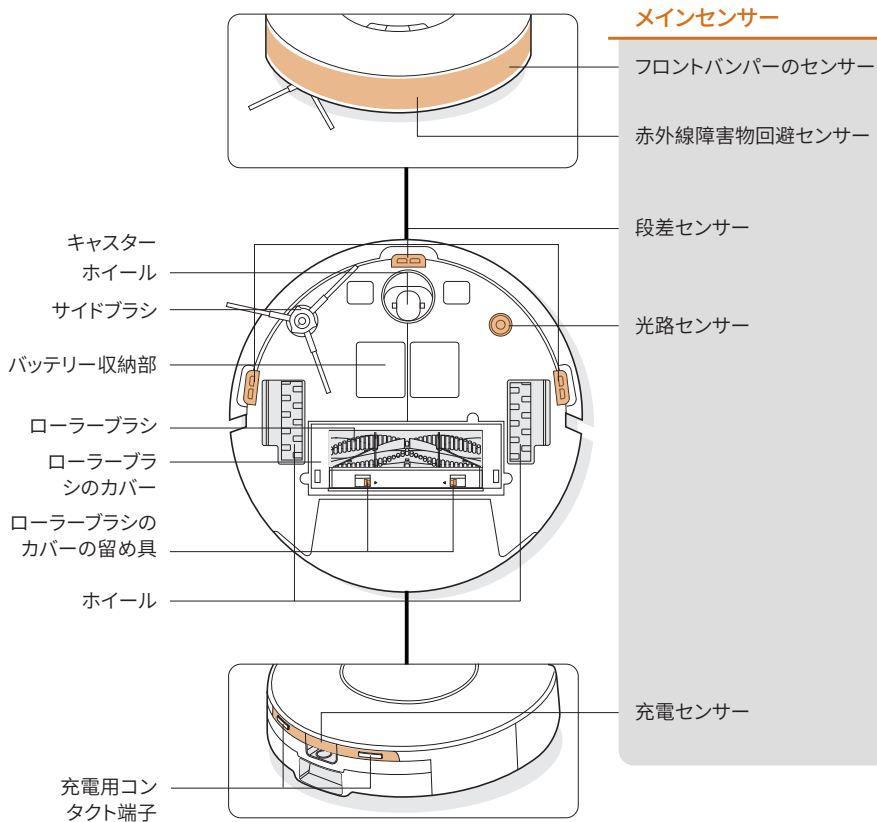
- ⏻ 電源ボタン
 - 電源オン/オフ : 3秒間の長押しで電源のオン/オフができます。
 - 自動クリーニング : 電源オン後に押すと、オートクリーニングが始まります。
 - Ⓞ スポットクリーニングボタン
 - スポットクリーニング : ボタンを押してスポットクリーニングを開始します。
 - ⏻ 充電ボタン
 - 充電 : ボタンを押して充電を開始します。
 - 手動で空にする : 充電中にボタンを押すと、手動で集塵を開始します。
 - Ⓞ + ⏻
 - Wi-Fiをリセットする : 両方のボタンを3秒間長押しすると、Wi-Fiがリセットされます。
- 洗浄中や充電中にいずれかのボタンを押すと、一時停止することができます。

ロボットのステータス表示ライト

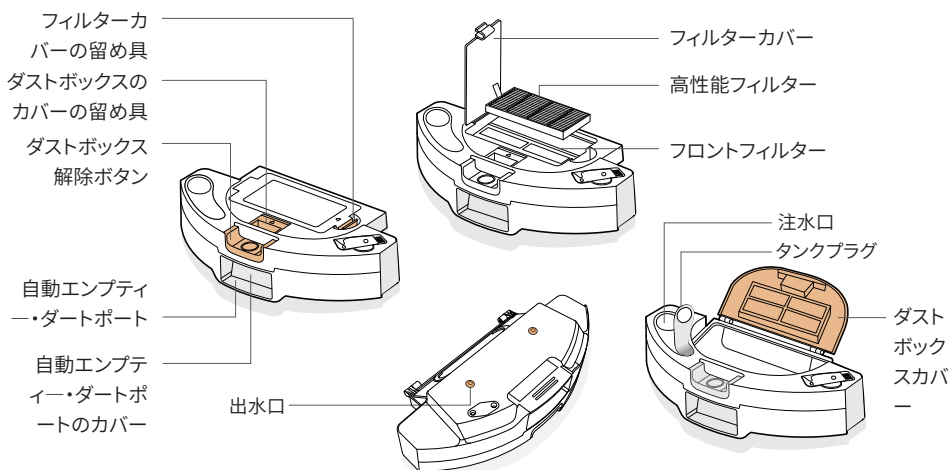
- ホワイト : 通常電力
- レッド : 低電力またはエラー
- 点滅するホワイト : 充電中



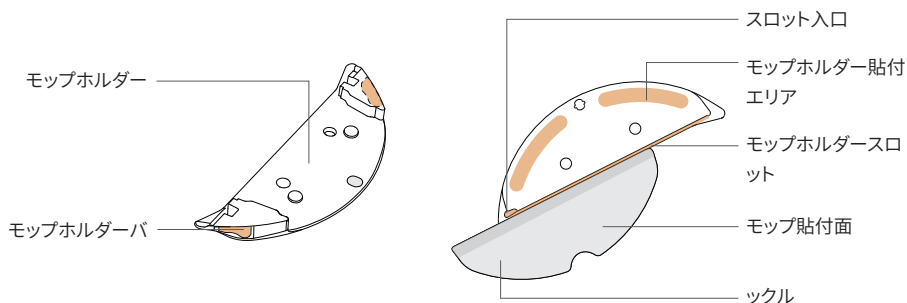
ボタン一覧



ダストボックスタンクモジュール

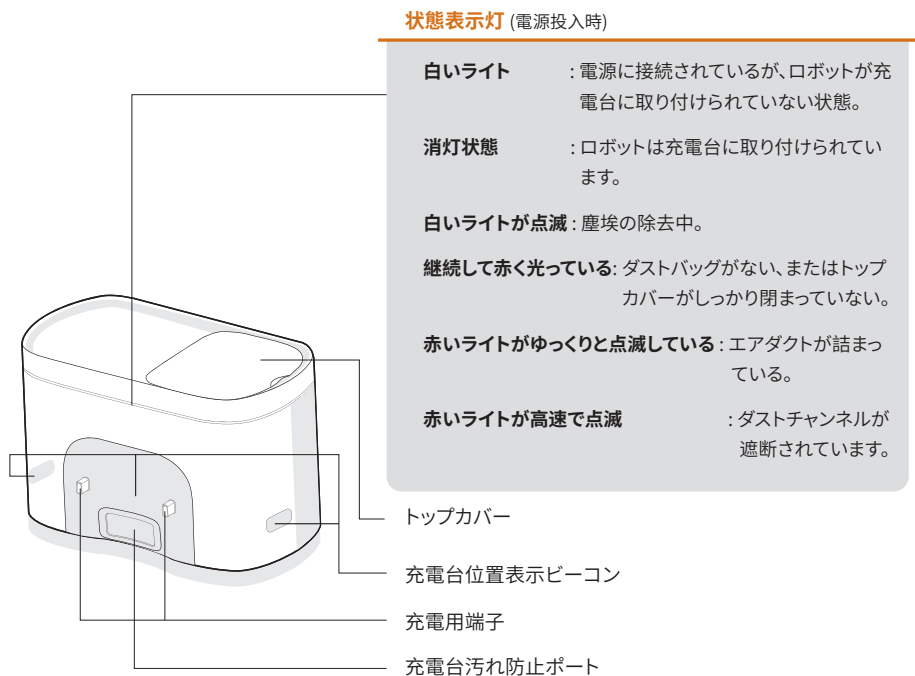


モップモジュール

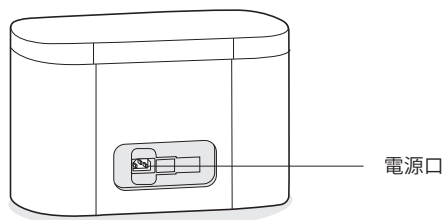


B) 自動エンプティ充電台 (以下、充電台と略す)

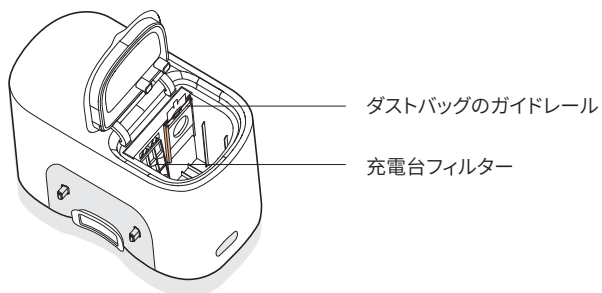
前面



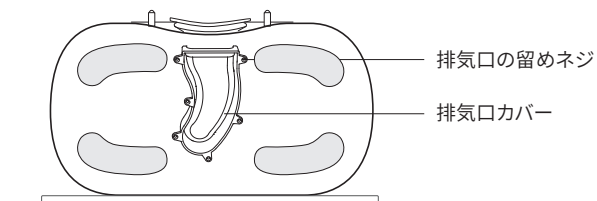
背面



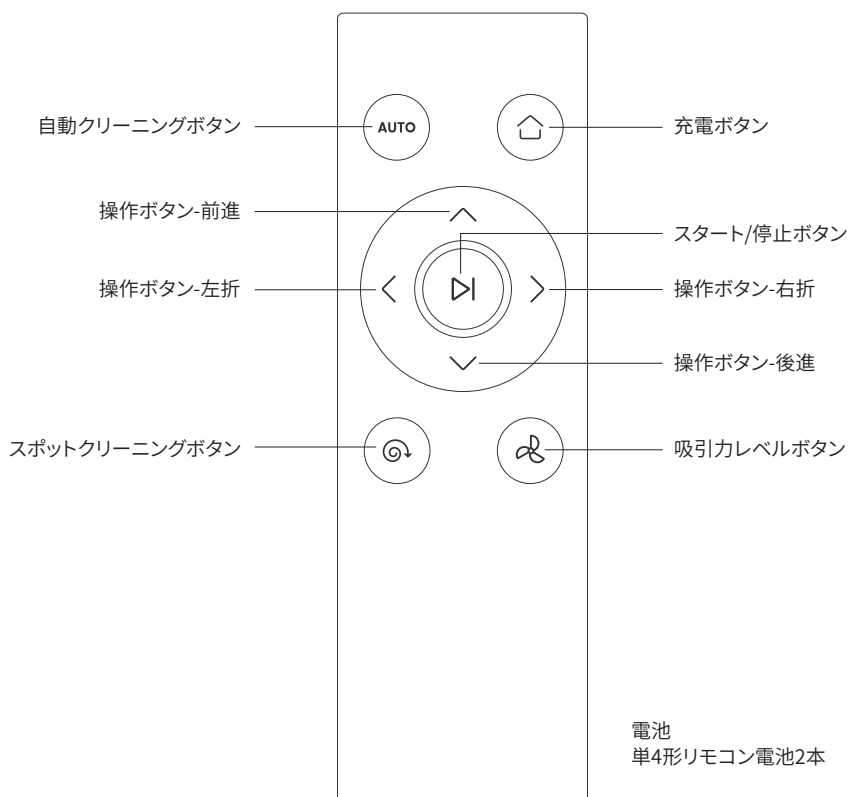
上から見た図



下から見た図



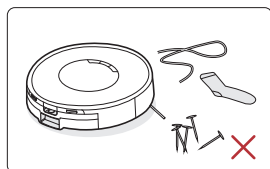
C) リモコン



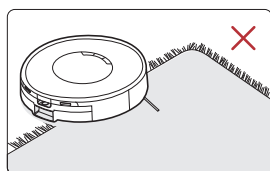
3. 設置方法

3.1 ご使用になる前の重要なアドバイス

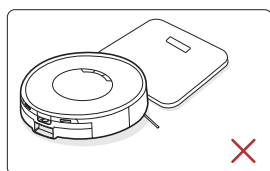
ご利用される家庭での使用環境を整えましょう



- ① 使用する前に、特に床にある配線がロボットに絡まる可能性があるので、片付けてください。壊れやすいもの、貴重品、危険なもの、落下しやすいものは取り除いてください。ロボットに絡まったり、引っかかったり、引きずられたり、倒されたりすることで、人や物に損害が出ないようにしてください。



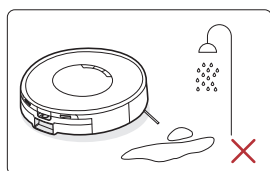
- ② ロボットが絡まないように、絨毯の房の部分を下に折りたたんでください。絨毯の色が濃いもの、厚さが12.7 mmを超えるものは避けてください。



- ③ ロボットは高さ20mm以下の物体の上を乗り越えようとする場合があります。可能であれば、これらの物体を取り除いてください。



- ④ 暖炉や排気口などの場所でロボットを使用する場合は、ロボットの不意の落下や侵入による身体や家具などへの損傷を防ぐため、マグネットバリアの代わりに物理的なバリアを設置することを推奨します。



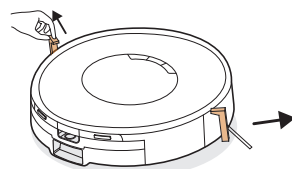
- ⑤ 洗浄の際は、ロボットを濡れた場所や粘着性のあるものから遠ざけてください。

- ⑥ 最初の数回はロボットが立ち往生したり、障害物に遭遇することがありますが、ロボットの動きに合わせて観察し、問題が発生した場合は適切な対応を行ってください。

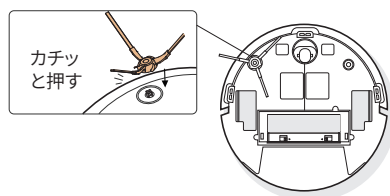
3.2 実際に使用する

1) 保護具を取り外す

ご利用される前に、ロボットに貼ってある保護フィルムやストリップを剥がしてください。



2) サイドブラシを取り付ける

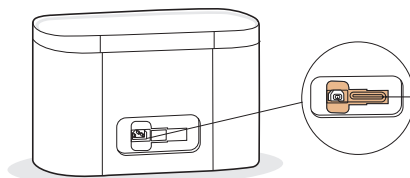


3) 充電台を設置、電源を接続し、ロボットを充電する

- ① 電源ケーブルを接続し、結束バンドで電源ケーブルがもつれないようにします。

△ 注意:

- 床面にある電源ケーブルにロボットが絡まることで、電源が落ちたり、ロボットが詰まったりする可能性があります。

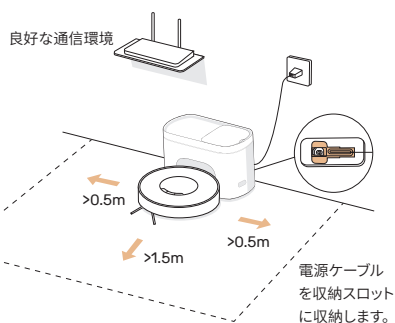


- ② 充電台を置き、電源を入れます。

- 充電台は、ロボットがアクセスしやすい位置に置いてください。

△ 注意:

- 充電台の前面1.5m、両側面0.5mの範囲に物を置かないように注意してください。
- 充電台の信号発信部を物で覆わないでください。
- 充電効果に影響を与えるので直射日光は避けてください。



充電台は、水平で滑りにくく、硬い壁面に置いてください。

△ 注意:

- 位置の変化による充電の失敗を避けるため、充電台をカーペットや毛布の上に置かないでください。

- 充電台は必ず電源に接続してください。安定したWi-Fiネットワークがあり、ネットワークのパフォーマンスが良い環境に設置されていることを確認してください。

△ 注意:

- 充電台は常にコンセントにつないでください。そうしないとロボットは自動的に戻ってきません。
- クリーニング後にスムーズに充電台に戻るために、充電台からクリーニングを開始することをおすすめします。クリーニング中は、充電台は動かさないでください。

- ③ ロボットを充電台に接続し、電源を入れます。
- 電源に接続した後、充電用コンタクトピンに合わせてロボットを充電台に取り付けてください。ロボットの電源は自動的にオンになります。



△ 注意:

- 電池残量が少なくなってロボットの電源が入らなくなった場合、ロボットを充電ベースに一定時間置くと、自動的に電源が入ります。
- ロボットが充電ベースに置かれていない場合は、電源ボタンを3秒間長押しして電源を入れます。

- ④ 充電完了。
- ご使用される前にロボットをフル充電してください。



△ 注意:

- 最初に使用する前に、ロボットを少なくとも4-6時間充電することをお勧めします。十分な電力がないと、ロボットは起動せず、充電のために充電ベースに戻ってきません。



4) モバイル端末と接続する

△ 注意:

- モバイル端末がiOS 9.0(もしくはそれ以上)またはAndroid 5.0(もしくはそれ以上)であることを確認してください。
- 無線LANルーターで2.4GHz帯の無線電波が有効になっており、電波が強いことを確認してください。
- より良い接続品質を確保するために、携帯電話のBluetoothをオンにしてください。

- ① アプリをダウンロードする。
- アプリストアで「Verefa Life」アプリを検索して、インストールしてください。



- ② Wi-Fiをリセットする。
- 音声プロンプトが聞こえるまで、両方のボタン( スポットクリーニングボタンと  充電ボタン) を3秒間押し続けてください。ロボットの3つのインジケータがゆっくりと点滅し始め、ロボットがペアリングの準備ができていないことを示します。

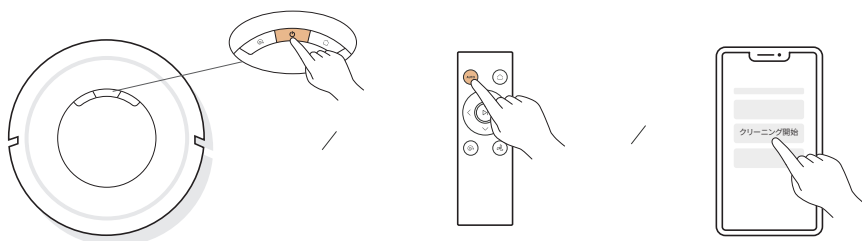
③ デバイスを追加する。

- アプリを起動し、画面の指示に従ってアカウント登録またはログインを行います。
- アプリのトップページに移動します。ページ右上の「+」をタップし、「デバイスの追加」ページに入ります。
- 画面上の指示に従って、ロボットと接続します。

△ 注意:

- Wi-Fi接続は2.4GHz帯のみ対応しています。
- アプリは随時アップデートされるため、実際の動作は上記の説明と異なる場合があります。必ずアプリの指示に従って、Wi-Fi接続を完了させてください。
- ネットワーク設定に失敗した場合は、Wi-Fiをリセットして、上記の操作を繰り返してください。

5) クリーニング開始



4. 操作方法

4.1 主な機能

● 電源のオン/オフ

- 電源ボタンを3秒間長押しして、ロボットの電源を入ます。電源ライトが点灯します。再度電源ボタンを3秒長押しすると、ロボットの電源が切れます。

△ 注意:

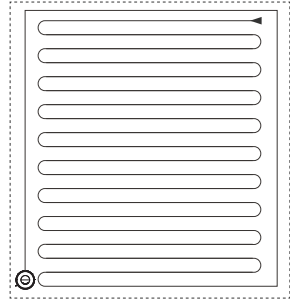
- 充電中はロボットの電源を切ることができません。

● クリーニング開始 (自動クリーニング)

- 電源ボタンを押すと、ロボットがZ字型の掃除方法で順番にお部屋をクリーニングします。そして、壁に沿って整然と効率よくお掃除してくれます。クリーニングが終わると、ロボットは自動的に充電ベースに戻り、充電を行います。

△ 注意:

- 電力不足でクリーニングを開始できない場合は、まずロボットを充電してからクリーニングを開始してください。
- 清掃中に電力不足になった場合、ロボットは自動的に充電ベースに戻り、充電を行います。完全に充電された後、中断したところから清掃を再開します。
- 清掃面積が4 m² 未満の場合、ロボットはデフォルトで2回清掃します。
- 掃除中に電源が落ちたり、引きずられて物やワイヤーが破損したりするのを防ぐため、掃除の前に床の上のワイヤー (充電ベースの電源ケーブルを含む) をすべて片付けてください。



● 一時停止/再開/スリープ

- ロボットの作業中は、いずれかのボタンを押すと一時停止し、電源ボタンを押すとクリーニングが継続されます。
- 10分以上スタンバイすると、ホストは自動的にハイバネーション状態になります。ハイバネーション状態では、電源インジケータは消灯しています。いずれかのボタンを押すと、ハイバネーション状態のホストが起動します。

△ 注意:

- 充電のためにロボットを充電台に戻した場合、現在のクリーニングタスクは終了します。
- 清掃作業を継続する場合は、ロボットがクリーニング経路を混乱するのを避けるため、ロボットを元の位置に戻してください。
- 充電中、ロボットはスリープモードに入りません。

● 充電

- 自動モード: グローバルクリーニングでクリーニングが終了したり、電力が少なくなると、ホストは自動的に充電スタンドに戻り、充電します。
- 手動モード: クリーニングが一時的に停止されているときに、充電ボタンを押して充電を開始するか、アプリで有効にします。

△ 注意:

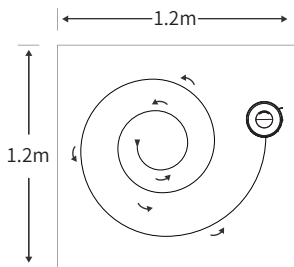
- ロボットが充電ベースに戻らなかった場合、手動でロボットを充電ベースに戻して充電してください。
- ロボットが充電されると、インジケータランプが白く点灯します。

● スポットクリーニング

- 待機中または清掃一時停止中に、スポット清掃ボタンを押すと、スポット清掃を開始します。ロボットが直径1.2mの特定のエリアをスパイラル状に清掃します。清掃後、ロボットは自動的にスタート地点に戻り、作業を終了します。

△ 注意:

- 他のタスクがあるときにスポットクリーニングを開始すると、その時点で直前のクリーニングタスクが終了します。



● クリーニングのスケジュールを設定 (アプリからの設定のみ)

- アプリでクリーニングのスケジュールを設定することができます。指定した時間にロボットが自動的にクリーニングを開始し、クリーニング後は自動的に充電台へ戻ります。

△ 注意:

- クリーニング中に予定時刻になると、その時点で最後のクリーニングタスクが終了します。

● 吸引力のレベル

- 最高のクリーニング効果を得るためには、あなたのニーズに応じて異なる吸引レベルを選択します。
- 吸引力が大きいと、クリーニング時間が短くなりますが、騒音が大きくなります。
- リモコンとアプリで設定できます。

● オートブースト (アプリからのみ設定可能)

- クリーニング中、厚手のカーペットや掃除しにくいゴミなど、より強い出力が必要だと判断した場合、ロボットが自動的に吸引力を上げて最高の掃除をします。
- この機能により、掃除時間が短縮されますが、騒音が大きくなります。騒音の増大が気になる場合は、アプリでこの機能を無効にすることができます。

● 自動でダストボックスを空にする(自動エンプティ)

- 自動で空にする:

- 清掃後、充電ベースに戻ると、アプリで設定した空回し頻度に従って、ロボットが自動的にダストボックスを空にしてくれます。
- 空になる頻度はアプリで調整できます。

- 手動で空にする:

- 本体を充電スタンドに接続した状態で、本体またはリモコンのバックチャージボタンを短押しすると、手動集じんが可能です。

△ 注意:

- 自動で空にする機能が不要な場合は、アプリでこの機能を無効にしてください。

4.2 モップ機能

● モップ

- モップモジュールを取り付け、ダストボックスタンクモジュールに水を入れることでモップ機能を実行することができます。
- モップモジュールが取り付けられている場合、モップ機能が自動的にスタートします。また、携帯電話で水量調整を行ったり、クリーニング中にモップのみと設定することができます。

① タンクへの注水

- ダストボックスタンクモジュールを取り外します。
- タンクプラグを開け、水道水を満たしてからタンクプラグを閉じます。

△ 注意:

- タンクの腐食や排水管の詰まりを避けるため、洗剤や消毒液を使用しないでください。
 - タンクが変形する場合があるため、お湯を入れしないでください。
- ダストボックスタンクモジュールを再装着する



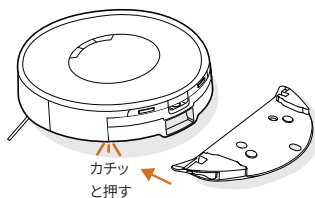
② モップの取り付け

- モップを濡らした後、絞って水をきり、モップホルダーの裏側を手前にしてモップをモップスタンドのスロットに沿って挿入し、しっかり固定します。



③ モップモジュールの取り付け

- モップが取り付けられているモップモジュールを掃除機の後ろに沿って平行に押し込み、「カチッ」という音が聞こえたら、正しく取り付けられることを示します。

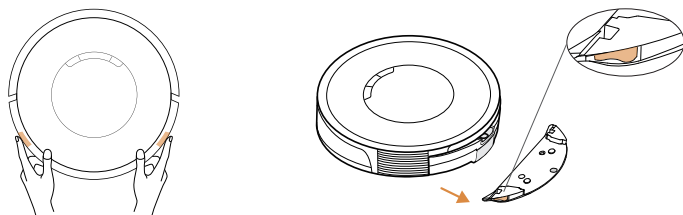


④ クリーニングのスタート

- クリーニングタスクをスタートすると、モップ機能が実行されます。

⑤ モップモジュールの取り出し

- 掃除機が動作を終えて充電台に戻った場合、両側のスナップを押して後ろに向かってモップモジュールを取り出します。



- モップがけの完了後、充電する、または使用しない場合は、異臭やカビが発生しないように、適時モップモジュールを取り出してモップを洗浄し、タンク内の水を捨ててください。

△ 注意：

- モップ機能は誰かが動作を確認できる状況でご使用してください。
- 濡れたモップモジュールがフロアを湿らせすぎて損傷させないように、一か所に長期間留まらないようにしてください。
- モールドモジュールが取り付けられている場合、掃地機が障害を乗り越える高さが低くなるので、引っかかりが発生する恐れがあることにご注意ください。
- モップ機能は、頑固な汚れや液体のないフロアにのみ適用されます。フロアにコーヒーの汚れ、インクの汚れなどの着色汚れがある場合は、フロアを汚さないようにモップ機能を使用しないでください。
- モップ機能は滑らかで硬いフロアでのクリーニングに最適であり、平らでないタイル、ワックスをよくかけているフロア、または比較的粗い表面ではクリーニング効果が発揮できない恐れがあります。これは、引っかかり、滑ったり、スムーズにモップ掛けできない可能性があるからです。
- カーペットの上でモップ機能を使用しないでください。
- モップ掛け効果を高めるために、モップ機能を使用する前に掃除機で地面を3回クリーニングすることをお勧めします。

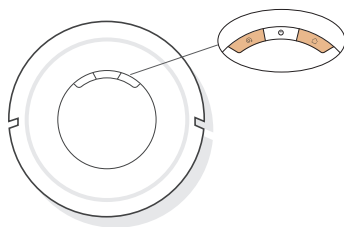
● 水量の調節

- 最適なクリーニング効果を確保するために、ユーザーは必要に応じて異なる水量ギアを選択できます。
- 水量を大きく調整するほど、1回のモップ可能時間が短くなります。
- 最適なモップ効果を得るために水量を補充する必要があるかどうか、注意してください。

4.3 ネットワーク機能

● Wi-Fiをリセット

- スマートフォンがロボットに接続できない場合、(ルーターの設定やパスワードの変更など) Wi-Fiをリセットした上でネットワークへの再接続を試みてください。
- 音声プロンプトが聞こえるまで、両方のボタン(⊙ スポット・クリーニングボタンと ⊕ 充電ボタン)を3秒間押し続けてください。3つのインジケータがゆっくり点滅し、ロボットがペアリングできる状態になったことを示します。
- Wi-Fi設定の詳細については、本マニュアルの「設置方法 > モバイル端末に接続する」を参照してください。



● モバイル端末機能

- モバイルアプリケーションを通じて、ロボットを遠隔操作することができます。
- アプリを使用すると、クリーニングのスケジュール、ロボットの検索、ステータスやクリーニング記録の確認など、より多くの機能にアクセスすることができます。
- Wi-Fiの具体的な設定方法については、本マニュアルの「[設置方法](#)> モバイルクライアントに接続する」を参照してください。

△ 注意:

- アプリの継続的な開発およびアップグレードにより、機能や詳細が若干調整される場合があります。実際のバージョンを参照してください。

4.4 その他機能

● ロボットを探す

- ロボットがどこかに行ってしまった場合、アプリ内の「マイロボットを探す」機能で見つけることができます。

● システムを強制的に再起動する

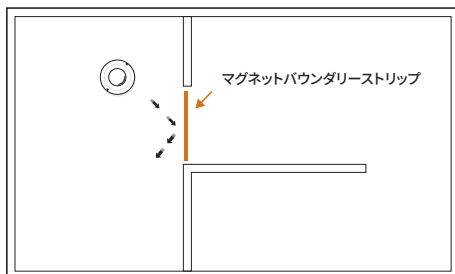
- ボタンが反応しない、または電源をオフにできない場合は、再起動をお試しください。
- 充電していないときは、電源ボタンを10秒間長押しして強制的に電源を切り、その後電源ボタンを3秒間長押しして電源を入れてください。

● 工場出荷状態に戻す

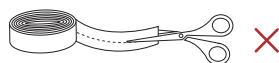
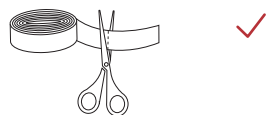
- リセットしても正常に使用できない場合は、工場出荷状態に戻すことをお試しください。
- 充電していない状態で、電源ボタンと充電ボタンを同時に8秒間、操作音が鳴るまで押し続けてください。
- ロボットはすべての情報と設定をクリアします。このとき、ユーザー側で設定（ネットワーク設定を含む）を再構築する必要があります。

● マグネットバウンダリーストリップ (別売)

- マグネットバウンダリーストリップを使用することで、ロボットは特定のエリアを識別し、入らないようにすることができます。例えば、ドアの前に置いて、ロボットが部屋に入るのを防いだり、ペットの水飲み場、おもちゃの場所、複雑な配線などの周りにストリップを配置して、ロボットが横切るのを防いだりすることができます。



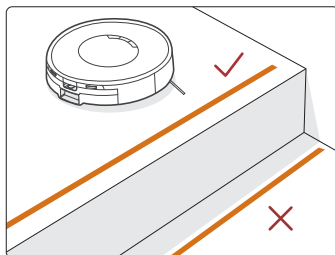
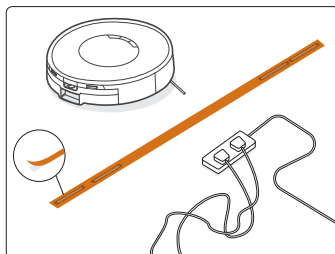
- ① マグネットバウンダリーストリップで隔離するエリアを決めて、バウンダリーストリップを短くカットします。切る前に長さを正しく測定してください。ロボットが横切ったり触れたりしないように、アイテムやエリアから5cm以上離れた場所にストリップを引いてください。



- ② マグネットバウンダリーストリップを床に平らに設置してください。固定する必要がある場合は、粘着テープを使用してください。

△ 注意:

- マグネットバウンダリーストリップが平らで、ロボットが設置されている床と同じ表面に置かれていることを確認してください。
- マグネットバウンダリーストリップが丸まっている場合は、床から取り除いてから、粘着テープで床に貼り直してください。これを行わないと、マグネットバウンダリーストリップがうまく機能しないことがあります。
- この機能はエリアを分割するためにのみ使用でき、危険なエリアをブロックするために使用することはできません。
- 磁気バウンダリーストリップを厚いカーペットの下に置かないでください。ロボット掃除機がバウンダリーストリップを認識できない可能性があります。



5. メンテナンスおよびトラブルシューティング

5.1 定期メンテナンス

製品の清掃やメンテナンスの前に、電源を切り、電源ケーブルを抜いてください。

ロボットが最高のパフォーマンスを発揮するために、次の表を参考に定期的なメンテナンスを行ってください。

パーツ	メンテナンスの頻度	交換の頻度
ダストボックス	毎月	-
フィルター	毎週	3か月毎
ローラーブラシ	毎月	6-12か月毎
ローラーブラシのカバー	毎月	3-6か月毎
サイドブラシ	毎月	3-6か月毎
タンク	毎回の使用後ごと	-
モップモジュール	毎回の使用後ごと	-
モップ	毎回の使用後ごと	3~6ヶ月ごと(または顕著に摩耗した場合)
キャスターホイール	毎月	-
ホイール	毎月	-
センサー	毎月	-
充電用コンタクトピン、 充電用コンタクト	毎月	-
ダストバッグ	毎月	毎月
充電台フィルター	毎月	-
充電台汚れ防止ポート	毎月	-
充電台排気口	閉塞が生じた場合	-

△ 注意:

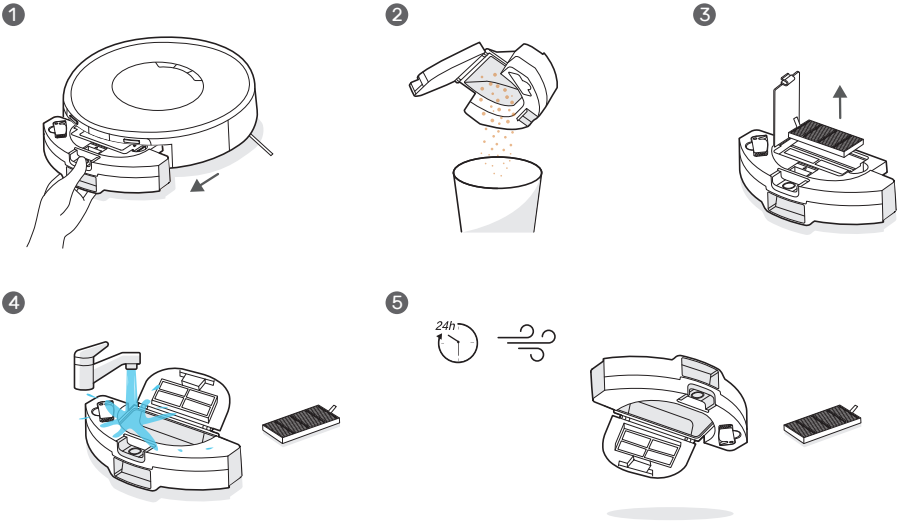
- ペットを飼育している場合は、部品メンテナンスの頻度を二倍に増やす必要があります。
- 交換頻度は実際の状況によって異なる場合があります。目で確認できる摩耗や異常な摩耗が発生した場合は、部品を交換してください。

1) ダストボックスとフィルターの清掃

- ① ダストボックス・リリース用ボタンを押してダストボックスタンクモジュールを取り出します。
- ② ダストボックスを開き、空にします。
- クリーニングブラシで、ダストボックスの内部空洞、ダストボックスカバーの前面フィルター、自動エンプティダートポート、オートエンプティダートポートカバーを丁寧に掃除してください。
- ③ ダストボックスカバーを開き、フィルターカバーのバックル部分を押し、フィルターカバーを開き、フィルター部分を取り出します。
- ④ ダストボックスとフィルターをきれいな水で十分に洗い流してください。
- ⑤ ダストボックスとフィルターを完全に乾燥させ、交換します。

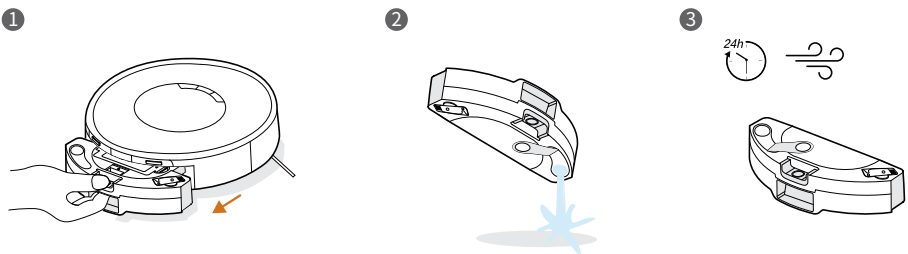
△ 注意:

- 使用前に必ずダストボックスのフィルターを十分に乾燥させてください。正常な動作と耐用年数に影響がでます。
- 不良品のダストボックスはロボットに挿入しないでください。誤ってクリーニングを開始して、ロボットのエアダクトを塞いだり、ファンを損傷する可能性があります。
- ダストボックスやフィルターを食器洗い機に入れて洗浄しないでください。



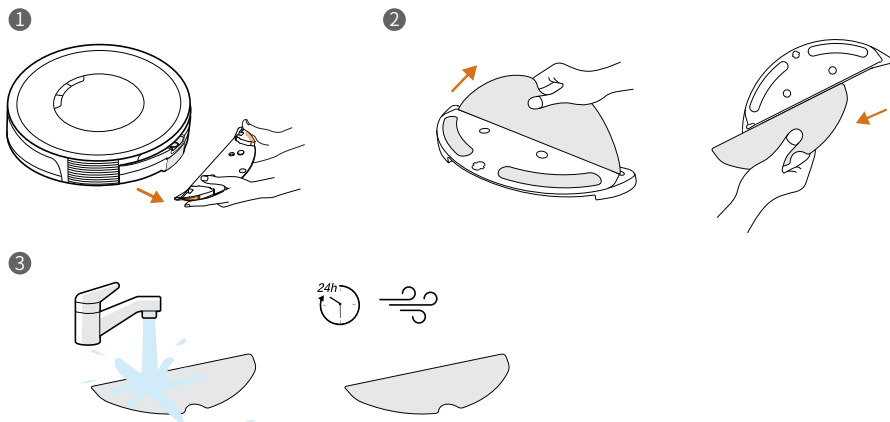
2) タンクをクリーニングする

- 1** ダストボックス・リリース用ボタンを押してダストボックスタンクモジュールを取り出します。
- 2** タンクプラグを開き、残っている水を出します。
- さらに掃除する必要がある場合は、水を注入してタンクプラグを閉じてタンク内部のキャビティを揺らしてから水を出してください。
- 3** タンクを乾かしてから再装着します。



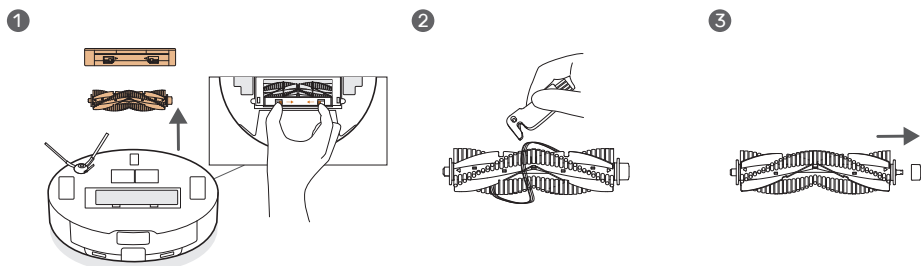
3) モップモジュールをクリーニングする

- 1 モップモジュールのスナップを押してモップモジュールを取り出します。
- 2 モップホルダーからモップを取り除きます。
- 3 モップを洗浄して干します。

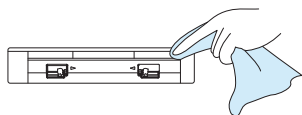


4) ローラーブラシとローラーブラシカバーの清掃

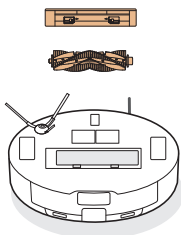
- 1 ローラーブラシカバーの両側のバックルを内側に押しながら持ち、ローラーブラシカバーとローラーブラシを取り出します。
- 2 ローラーブラシに巻きついた毛をクリーニングブラシの刃で取り除きます。
- 3 ローラーブラシ側面のローラーブラシベアリングを外すと、隙間に絡まった毛を取り除くことができます。
- 4 ローラーブラシのカバーの汚れを落とします。
- 5 ローラーブラシを取り付け、ローラーブラシカバーを元に戻します。



4

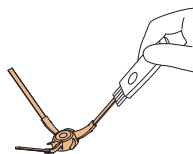


5



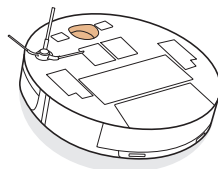
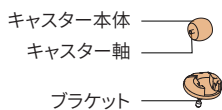
5) サイドブラシの清掃

- ① サイドブラシを引き抜きます。
- ② クリーニングブラシでサイドブラシを清掃し、元に戻します。



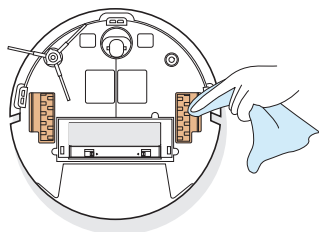
6) キャスターホイールの清掃

- ① キャスター軸をこじ開け、小型ドライバーなどを使ってキャスター本体を引き抜きます。
- ② キャスター軸を取り除き、キャスター本体を引き出して髪の毛や汚れを取り除き、再度取り付け、強く押し付けて取り付けてください。



7) ホイールの清掃

- ① 乾いた柔らかい布で、ホイールを拭いてきれいにしてください。

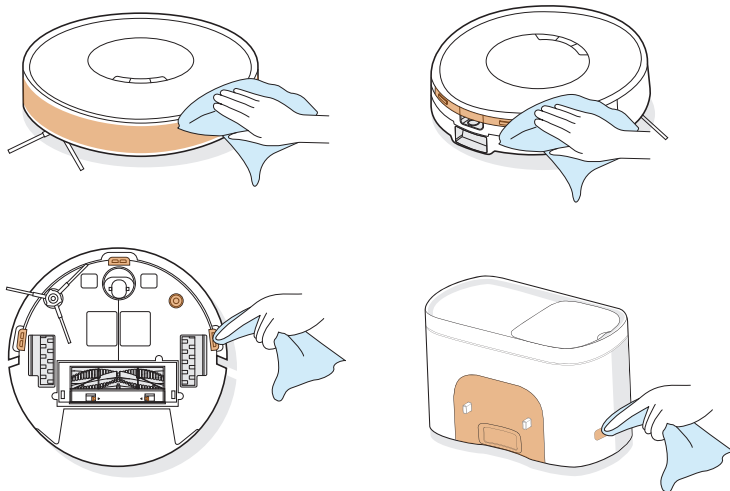


8) センサー、充電用コンタクトピン、充電用コンタクトの清掃

- ① 乾いた柔らかい布でセンサーを拭き、清掃してください。

△ 注意:

- 製品の内部には繊細な電子部品があります。クリーニングの際には、柔らかい乾いた布で拭いてください。水による損傷を防ぐため、濡れた雑巾は使用しないでください。



9) 自動エンプティ充電台のダストバッグを交換し、集塵口とフィルターを清掃する

ダストバッグがいっぱいになったら、自動エンプティ充電台の表示ランプまたはモバイルクライアントのプロンプトに従って、ダストバッグを交換してください。ダストバッグは、1か月に1回交換することをおすすめします。

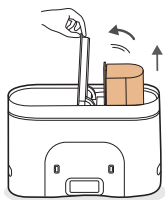
- ① 自動エンプティ充電台のダストバッグカバーを開ける。
- ② ダストバッグの取っ手を引き上げ、ダストバッグを取り出します。

△ 注意:

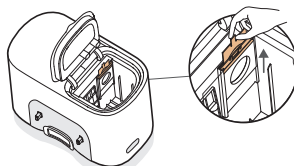
- ダストバッグを取り出す際、ダストバッグのハンドルのクリップが自動的にダストバッグを閉じて、ホコリの漏れを効果的に防止します。

- ③ 使用済みのダストバッグを廃棄します。
- ④ 充電台の中のフィルターと外側の集塵口を乾いた柔らかい布で拭いてください。
- ⑤ 新しいダストバッグを取り付け、ガイドレールに沿ってクリップを押ししてください。
- ⑥ 充電ベースのトップカバーを閉じます。

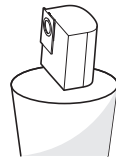
①



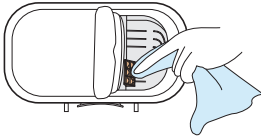
②



③



4



5



10) 排気口の清掃

排気口が詰まっている場合は、次の手順で清掃してください。

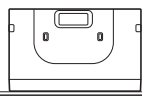
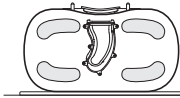
- ① 平らな面に柔らかい布を敷き、自動エンプティ充電台を裏返しにして平らにしてください。

△ 注意：

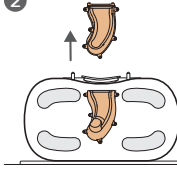
- 上部の装飾リングとダストバッグカバーを損傷しないよう気を付けながら、自動エンプティ充電台を裏返さないでください。

- ② ドライバーでエアダクトカバーのネジを外し、エアダクトカバーを取り出します。
 ③ エアダクトが汚れで塞がれていないか確認し、清掃してください。
 ④ ドライバーでダクトカバーを元に戻してください。

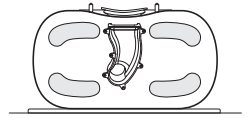
1



2



3



5.2 トラブルシューティング

ロボットの動作中にエラーが発生した場合、ロボットまたは自動エンベティ充電台のインジケータランプが異なる状態で赤色に点灯し、異常発生を知らせるプロンプト音が鳴ります。その際は次の表をご参照ください。

インジケータランプ	音声プロンプト	解決策
ロボットのライトが ゆっくり赤く点滅している	エラー 1: フロントバンパーがうごきません。きれいにして再度お試しください。	- フロントバンパーに汚れが詰まっています。何度か叩いて汚れを落としてください。確認後、場所を変えて起動してください。
	エラー 2: サイドブラシに汚れが詰まっています。きれいにして再度お試しください。	- サイドブラシにゴミが絡まっている可能性があります。清掃して再度お試しください。
	エラー 3: ローラーブラシが固着しています。きれいにして再度お試しください。	- ローラーブラシにゴミが絡まっている可能性があります。ローラーブラシを清掃して、再度お試しください。
	エラー 4: ホイールが動きません。きれいにして再度お試しください。	- ホイールにゴミが絡まっている可能性があります。ホイールを清掃して、再度お試しください。
	エラー 5: 光路センサーが汚れています。清掃後、再度お試しください。	- 光路センサーに埃が付着している可能性があります。乾いた布で拭いてから再度お試しください。
	エラー 6: フィルターが詰まっているか、濡れています。清掃し、乾燥後、再度お試しください。	- フィルターが詰まっているか、濡れている可能性があります。お手入れしてください。乾いていない場合は、24時間以上乾燥させてください。それでも正常に動かない場合は、フィルターを交換してください。
	エラー 7: ホイールが停止しています。元の位置近くまで移動して、再度お試しください。	- ロボットが抱き上げられたり、吊り下げられている可能性がありますので、元の位置に近い新しい位置に移動して、再度お試しください。 - 本体がはみ出していたり、クリフセンサーにホコリが付着したり、詰まっていることがありますので、乾いた布でクリフセンサーを拭き、元の場所付近で起動するように移動してください。
ロボットのライトが 継続して赤く光っている	エラー 9: 強い磁場が検出されました。再起動するために場所を変更してください。	- ロボットの起動時に、ロボットがマグネットバウンダリーストリップや強い磁界に近づきすぎています。ロボットを新しい場所に置いて再起動してください。
	エラー 11: 電力が低すぎるため、システムが自動的にシャットダウンされようとしています。	- ロボットのバッテリーの残量が少なく(5%以下)、充電台に装備されていません。充電台でロボットを充電してください。

ロボットのライトが 継続して赤く 光っている	エラー 12: ロボットが障害物に当たりました。周囲の障害物を取り除いてください。	- ロボットが動けなくなった、または閉じ込められた可能性があります。ロボットの周りの障害物を取り除いてください。
	エラー 13: 充電台がブロックされています。それをクリアしてください。	- 充電台周辺が、障害物やホコリでふさがれていることがあります。充電台周辺を清掃し、充電台位置ビーコン部分を拭いてください。
	エラー 14: 充電エラーです。充電のコンタクト部分を拭いてください。	- ロボットの充電コンタクトピン、充電台の充電コンタクト部分を乾いた布で拭いてください。
ロボットのライトが 赤色/白色で交互に光っている	エラーF1: サイドブラシモジュールの不具合です。確認後、システムの再起動をお試しください。	- サイドブラシにゴミが絡まっていないかご確認ください。サイドブラシを取り外して清掃し、再度取り付けてから、システムの電源を切り、電源をオンにしてください。 - それでも改善されない場合は、弊社カスタマーサービスまでお問い合わせください。
	エラー F2: ローラーブラシモジュールの不具合です。確認後、システムの再起動をお試しください。	- ローラーブラシにゴミが絡まっていないか確認してください。ローラーブラシを取り外して清掃し、再度取り付けてから、システムの電源を切り、電源を入れてみてください。 - それでも改善されない場合は、弊社カスタマーサービスまでお問い合わせください。
	エラー F3: パキュームファンモジュールの不具合です。確認後、システムの再起動をお試しください。	- ダストボックス、フィルター、吸塵口がゴミでふさがっていないか確認してください。それらを取り除いた後、電源を切ってから、再度電源を入れてください。 - それでも改善されない場合は、弊社カスタマーサービスまでお問い合わせください。
	エラー F4: ホイールモジュールの不具合です。確認後、システムの再起動をお試しください。	- ホイールにゴミが絡まっていないかご確認ください。それらを取り除いた後、電源を切ってから、再度電源を入れてください。 - それでも改善されない場合は、弊社カスタマーサービスまでお問い合わせください。

<p>ロボットのライトが赤色/白色で交互に光っている</p>	<p>エラー F5: 光パセンサモジュールの不具合です。確認後、システムの再起動をお試しください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> - オプティカルフローセンサーが詰まっていないか、汚れていないかを確認し、清掃してから、システムの電源を切り、再起動を試みてください。 - それでも改善されない場合は、弊社カスタマーサービスまでお問い合わせください。
	<p>エラー F6: バッテリーモジュールの故障です。バッテリーの温度が正常になるまで待ってから使用してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> - 電池の温度が高すぎる、または低すぎる。電池の温度が正常になるのを待ってからご使用ください。 - それでも改善されない場合は、弊社カスタマーサービスまでお問い合わせください。
<p>充電台のライトが継続して赤く光っている</p>	<p>ダストバッグが正しく取り付けられているか、しっかりと閉まっているかを確認してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> - ダストバッグが欠品していないか、ダストバッグが所定の位置に取り付けられているか確認して、ダストバッグのカバーを閉じてください。 - ダストバッグカバーがしっかりと閉まり、密閉されていることを確認し、ダストバッグのカバーの状態を確認してください。
<p>充電台のライトがゆっくり赤く点滅している</p>	<p>長時間使用しているため、ダストバッグを交換してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> - ダストバッグの状態を確認し、適宜交換をお願いします。ダストバッグが新品の場合は、ダストバッグを取り出し、再度取り付けてください。
<p>充電台のライトが素早く赤く点滅している</p>	<p>排気口が詰まっています、きれいにしてください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> - 本体の集塵口、充電スタンドの集塵口付近が詰まっていないか、清掃してください。閉塞していない場合は、再度集じん検知を開始してください。 - 上記で解決できない場合は、「排気口の清掃」の章を参照し、エアダクトの清掃を行ってください。
<p>-</p>	<p>集塵が頻繁に発生するため、後で再試行してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> - 部品温度が高くなりすぎるのを防ぐため、しばらく時間をおいてから再度お試しください。

5.3 よくある質問



問題の種類	解決策
電源がオンにならない。	<ol style="list-style-type: none"> 1) バッテリーの残量が少ないです。充電台が電源に接続されていることを確認し、ロボットを充電台の上に置き、充電接点に合わせると、自動的に起動することをご確認ください。 2) それでも起動できない場合、システムを強制的に再起動してください。ロボットが充電中でない場合、電源ボタンを10秒間長押しして強制的に電源を切り、その後、電源ボタンを3秒間長押しして再度電源を入れる。
充電できない。	<ol style="list-style-type: none"> 1) 充電台からロボットを取り外し、充電台のインジケータライトが点灯しているかどうか確認してください。点灯しない場合は、電源ケーブルと充電台の電源ポートがしっかりと接続されているか、プラグと電源コンセントが差し込まれているかを確認してください。(ランプが点灯していない場合は、弊社カスタマーサービスまでお問い合わせください)。 2) 充電台のインジケータライトが点灯している場合、ロボットを充電ベースに接続し、ロボットの充電コンタクトピンが充電ベースの充電コンタクトと接続できているかを確認してください。ロボットのインジケータランプが白色に点滅するかどうかも確認してください。 3) もし、充電台のインジケータライトが点灯し、ロボットの電源もオンになったのに、ロボットが充電できない場合は、「センサー、充電用コンタクトピン、充電用コンタクトの清掃」を参照し、上記の2つのステップをもう一度試してみてください。(問題が解決しない場合は、弊社カスタマーサービスまでお問い合わせください)。
ロボットが動かない。	<ol style="list-style-type: none"> 1) ロボットが電源に接続されていることを確認してください。 2) ロボットが完全に充電されていることを確認してください。 3) 電源ボタンを3秒間長押しして、ロボットの電源をオンにします。
ロボットを充電できない。	<ol style="list-style-type: none"> 1) 充電台付近の障害物を取り除き、開けた場所に充電台を設置してください。充電台の前面1.5m、両側面0.5m以内に物が置かれていないことを確認してください。 2) 赤外線障害物回避センサー、充電センサー、充電ベース位置ビーコン部、充電コンタクトピン、充電接点を柔らかい乾いた布で拭いてください。 3) ロボットを充電ベース付近において、もう一度お試しください。
急にロボットの動きが止まる。	<ol style="list-style-type: none"> 1) ロボットが障害物に引っかかっているか確認してください。 2) バッテリー残量が少なくなっていないか確認してください。 3) ロボットに赤いランプや故障のプロンプトが表示されていないか確認してください。トラブルシューティングの章をご参照ください。 4) 問題が解決しない場合は、システムを強制的に再起動してください。電源ボタンを10秒間長押しして強制的に電源を切り、電源ボタンを3秒間押しして電源を入れてください。

<p>ロボットが異様な動作をする。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1) 該当するエラーメッセージが表示されているかどうか確認してください。「トラブルシューティング」の章をご参照ください。 2) 柔らかい布でセンサーを拭いてください。「定期的なメンテナンス」の章をご参照ください。 3) ロボットを再起動してください。
<p>ロボット掃除機が突然大きな音を出す。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1) 吸引レベルを調整するか、オートブーストをオフにして、この設定が大きな音の発生につながるかどうか確認してください。 2) ローラーブラシ、フィルター、ダストボックス、吸塵口、ホイール、キャスターにゴミが詰まっていないか確認してください。 3) フィルター、ローラーブラシ、ローラーブラシカバーが所定の位置に取り付けられていることを確認してください。
<p>洗浄性能が低下したり、灰が落ちたりする。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1) ダストボックスを清掃してください。 2) フィルターを清掃または交換してください。 3) ローラーブラシを清掃してください。 <p>具体的な方法は、「定期的なメンテナンス」の章をご参照ください。</p>
<p>ローラーブラシが回転しない。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1) ローラーブラシとローラーブラシの両端を清掃し、毛や汚れが詰まっていないかご確認ください。 2) ローラーブラシとローラーカバーが正しく取り付けられているかご確認ください。
<p>モップモジュールから水が出ない、または出水量が少ない。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1) タンクに水が入っているか、説明書に従ってモップモジュールが正しく取り付けられているか確認してください 2) 携帯アプリを使って水量を大に調節してください 3) タンク底の出水口が詰まっていないか、注水口の隣の排気口が詰まっていないかを確認してください
<p>Wi-Fiに接続できない。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1) ロボットがWi-Fi信号を受信できる良好なエリアにあることをご確認ください。 2) 最新のモバイルクライアントをダウンロードし、Wi-Fiをリセットしてから、再度接続をお試しください。 3) Wi-Fiパスワードが正しく入力されているか、特殊文字が含まれていないかご確認ください。 4) ルーターが5G帯のネットワーク、もしくは2.4G/5G混合帯を使用しているか確認してください。本機は2.4G帯のみ対応しています。
<p>予約したクリーニングが行われぬ。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1) バッテリー残量が12%以上あることを確認してください。電池残量が12%以上のときのみスケジュール洗浄を開始することができます。 2) クリーニングのサイクルが正確に予約されているかご確認ください。 3) クリーニングのスケジュールが正常に予約されているかどうか確認してください。モバイルクライアントで再度スケジュールを組んでみてください。クリーニングのスケジュールが正常に設定されると、ロボット掃除機は操作音を鳴らします。

上記の方法で不具合が解消されない場合は、弊社カスタマーサービスまでご連絡ください。お客様の問題は私たちにとっても大きな問題なので、お客様が製品の問題を解決するのをサポートすべく、私たちは全力を尽くします。

6. 声明文

基本パラメーター

ロボット掃除機 (モップ機能搭載)	
製品名	ロボット掃除機 (モップ機能搭載)
モデル番号	S103
定格電圧	14.4V 
入力電源	20V  1A
充電時間	6時間以下
ワイヤレス接続	Wi-Fi IEEE 802.11b/g/n 2.4GHz
自動エンプティ充電台	
製品名	自動エンプティ充電台
モデル	SD01
定格入力	100-120VAC
定格出力	20V  1A
定格周波数	50/60Hz
出力	850W

商標について

- Apple、Apple ロゴ、および iPhone は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。App Storeは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc. のサービスマークです。
- Amazon、Alexa、および関連するすべてのロゴは、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。
- Google、Google Play、Google Playロゴ、Android は Google LLC の商標です。

省エネとバッテリー

休日省エネモード

- 充電台で、反応音が鳴るまで充電ボタンを10秒間長押しします。このとき、休日省エネモードが起動します。
- 休日省エネモードでは、ネットワーク、リモコン、スケジューリングがオフになり、ロボットは省エネのために低電力モードになります。
- ロボットを充電台から取り外すか、いずれかのボタンを押さないと、この機能は終了しません。
- また、自動集塵充電クレードルの休日省エネモードを終了するには、コンセントを抜いて切断する必要があります。

バッテリーを取り外す(廃棄する場合)

- 本製品を廃棄する際に適用されるものであり、日常的な操作方法とは関係ありません。
- 本製品の内蔵リチウムイオン電池に含まれる化学物質は、環境を汚染する可能性があります。廃棄の際は取り外して、処分するために専門の電池回収業者に引き渡してください。
 1. 充電台で充電せず、クリーニングできないほどの低電力状態になるまで、ロボットを走行させます。
 2. 電源ボタンを3秒間長押しして、ロボットの電源をオフにします。
 3. ロボットのバッテリー収納部のネジをドライバーで外し、カバーを取り出します。
 4. スナップを押しながらコネクタプラグを抜き、バッテリーを取り出してください。
- バッテリーを取り外すときは、できるだけ電源が切れていることを確認し、電源がオフになった状態で安全に操作してください。
- バッテリーパック全体を一緒に取り外してください。ショートや危険物の漏えいを防ぐため、バッテリーパックの外装を傷つけないようにしてください。
- バッテリーが液漏れし、誤って触れてしまった場合は、多量の水で洗浄し、すぐに医師の診察を受けてください。



カスタマーサービス

カスタマーサービス

製品を使用する上で、何かご不明点などがある場合は、以下の方法で私たちに連絡することで、より多くのテクニカルサポートを得ることができます。お客様の問題は私たちにとっても大きな問題なので、お客様が製品の問題を解決するのをサポートすべく、私たちは全力を尽くします。

真摯な対応、いつでもお客様のために

→ カスタマーサービス、保証、チュートリアルビデオ、よくある質問

→ 最新のイベント/ニュース、詳細について

 www.verefalife.com

 support@verefalife.com

保証

本製品は現地販売に限定されており、カスタマーサービスおよび保証規定は現地在住のお客様にのみ適用されます。保証は現地の保証規定に従って行われます。以下の保証内容と現地法規との間に相違がある場合は、現地法規の解釈・適用を受けることになります。

種類	保証対象	保証期間
ロボット	ロボット(バッテリー、付属品、消耗品は除く)	1年間
パーツ	充電台、電源ケーブル、リモコン、モップホルダー	1年間
バッテリー	ロボットのバッテリー	1年間
注意: フィルター、ローラーブラシ、ローラーブラシ・カバー、サイドブラシ、ダストバッグ、モップは消耗品であるため、本製品に添付されて販売された消耗品は保証対象ではありません。		

以下のようなケースは、保証の対象外です。但し、有償での修理は可能です。

1. 使用者が取扱説明書に従って製品を操作せず、不適切な保管により故障した場合。
2. ロボットおよびその部品の無償保証期間が終了した場合。
3. 弊社が許可していない保守作業者が分解した際に破損した場合。
4. 有効な購入伝票番号の提示ができない場合。
5. 保証書に記載されている型式と修理する製品のシリアルナンバーが一致しない場合、または型式が変更されている場合。
6. 天災などの不可抗力による破損。
7. 偶発的な要因や人為的な要因(操作ミス、液入り、差し込み不良、傷、取り扱い、衝突、不適切な電圧の入力などを含む)による製品の故障や損傷。

製品保証書

ユーザーネーム	
住所	
メールアドレス	
電話番号	
モデル番号	S103
製品シリアルナンバー	
製品購入日	
製品購入経路	<input type="checkbox"/> Amazon <input type="checkbox"/> eBay <input type="checkbox"/> Official website <input type="checkbox"/> Taobao <input type="checkbox"/> Jingdong <input type="checkbox"/> Others, _____

修理記録

	修理した日	修理した場所	修理した人物	故障の内容	交換したアクセサリー
1					
2					
3					
4					
5					



真摯な対応、いつでもお客様のために

カスタマーサービス、保証、チュートリアルビデオ、よくある質問
最新のイベント/ニュース、詳細について

 www.verefalife.com

 support@verefalife.com